

## 学校情報

## 東京都立青梅総合高等学校

【公立】単位制・総合学科 【進学実績】大学・短期大学57%、専門学校等30%、就職7%（2019年度卒業生）

指導で大切に  
されていること

- ✓ 英語嫌いをつけないための「**スモールステップ**」な授業・評価設計
- ✓ 「**タスクの意義**」を生徒全員に伝えるための通信発行
- ✓ 「**オーセンティックな素材**」を扱い、**言語 + αの学び**を持たせる

## ご指導の全体像

学 年：第2学年

内 容：コミュニケーション英語Ⅱ

## 行事

→ 詳細は  
お取り組み②

TGG\*

グアム修学旅行

\*TOKYO GLOBAL GATEWAY  
(<https://tokyo-global-gateway.com/personal/whatistgg/>)

授業 コミュニケーション英語Ⅱ

→ 詳細はお取り組み①

## 評価

→ 詳細は  
お取り組み③

レシテーション  
テスト

STEP1：1学期中間

1分間スピーチ

STEP2：1学期末

スキット発表

STEP3：2学期中間

Show & tell

STEP4：2学期末

レシテーション  
コンテスト

STEP5：学年末

- ✓ 定期考査に合わせ、パフォーマンステストを実施（評価の割合はSpeakingが30～40%程度）
- ✓ 行事、指導と連動させながら、パフォーマンステストのレベルが徐々に上がっていく設計

## タイトル

## ワードカウンター\*を用いたSmall Talk

指導場面：授業中

目安時間：5～10分

\*ペアワークなどで相手の話した英語の語数を数え記録していく活動

## 目的

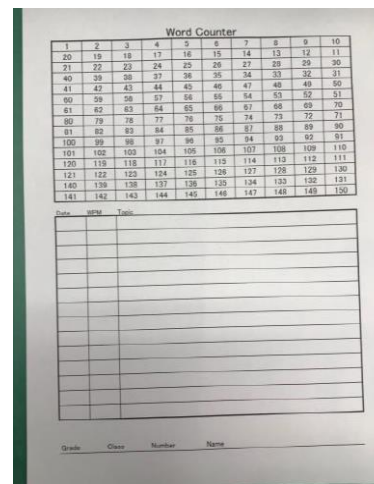
文法的な間違いを恐れず、英語を楽しく話すことに慣れさせる

## 活動内容

週に1度、毎回全クラス共通テーマ（生徒の日常活動や行事に関連付けたもの）でSmall Talkを実施。WPMを毎回記録していき、一言コメントを記入。

## ■ワードカウンター（右写真）

ペアの人が英語を話す際に数字部分をなぞりながら語数をカウントし、1分間で話せた語数を記録（WPM）。「GTEC」結果や生徒の様子を踏まえ、2年次1学期の全体目標を50/WPMと設定し、取り組ませた。



数字部分をなぞり、カウント

終了後に振り返り、一言コメントを記入

## ■Small Talkの約束事

- ①間違いを恐れず話すことができる温かい雰囲気を作ること
- ②誰とペアになっても積極的に取り組むこと
- ③決められた時間内は、全員英語しか話さないこと

## 活動のポイント

## 効果

- ✓ 自分の話せた語数の成長が見える化されることにより、積極的に英語を話す生徒が増える
- ✓ 4技能試験のスピーキングテスト対策としても有効

## タイトル

教科書を使ったスピーキング、リスニング活動

指導場面：授業中

目安時間：40分

## 目的

教科書を素材とし、スピーキング力、リスニング力を高める

\*キーワードや絵をヒントに英文を再構成して「話す」活動

## 活動内容

教科書内容の音声を5～6回流し、Listeningのみで本文の概要をつかむ活動、穴あきプリントを使った音読、リテリング活動\* など

## ■ Listening

本文内容に入る前にListeningのみで本文を  
 どれだけ理解できるかをチェック  
 →プリントにキーワードを書きだし、内容を推測  
 し、ペアで共有（ゲーム要素を取り入れる）

## ■ リテリング

絵を見た後に、2～3分程度、準備時間  
 を取りキーワードを右枠に書き出してからリテ  
 リング活動を行う

Lesson 1 Section 1 リテリング用シート

## ■ 穴あきプリント

サイトランレーションや音読活動を様々な  
 バリエーションで行う

## 活動のポイント

暗記用穴あきプリント Section1	
★カッコ内の単語(熟語)を中心に、すぐに英挿が出てくるように練習しよう。	
English	Japanese
1 We have a lot of ways /	私たちに数多くの方法があります
2 to (            ) //	情報を(伝達する)ための
3 Voice, (            ), and (            ) /	声、(文字)、(身ぶり)が
4 are some of them. //	それらのうちのいくつかです
5 A pictogram is (            ) way. //	ピクトグラムは(もう1つの)方法です
6 It is used for (            ) /	それは(標識)に使われています



Key Words



Key Words

## 効果

- ✓ Listeningのみの本文理解や音読の早読みなど、ゲーム的な要素を取り入れることで楽しく英語を学ぶ授業を作れる
- ✓ スピーキング力、リスニング力に加え、思考力が身につく

## タイトル

グアム修学旅行での英会話活動と事前準備

指導場面：授業中

目安時間：5～10分

## 目的

グアムにある姉妹校の生徒との交流を通して、英語での実際のコミュニケーションを経験する

## 活動内容

Basic Question, Original Questionを現地で行い、返答を書く、自分のEpisode Talkを話す

## 活動のポイント

Basic Question  
聞き、返答を書く

School trip worksheet	
<p><b>Basic questions</b></p> <p>1 What is your name?</p> <input type="text"/> <p>2 How can I call you?</p> <input type="text"/> <p>3 How old are you?</p> <input type="text"/> <p>4 Where do you live?</p> <input type="text"/> <p>5 How do you come to school?</p> <input type="text"/> <p>6 What subject do you like?</p> <input type="text"/> <p>7 What do you want to do in the future?</p> <input type="text"/> <p>8 What do you like to do in your free time?</p> <input type="text"/> <p>9 What are you into?</p> <input type="text"/> <p>10 Do you know anything about Japan?</p> <input type="text"/>	<p><b>Original questions</b></p> <p>1</p> <input type="text"/> <p>2</p> <input type="text"/> <p>3</p> <input type="text"/>
	<p><b>Episode talk</b></p> <input type="text"/>
	<p><b>What is your impression?</b></p> <input type="text"/>
Grade    Class    Number    Name	

Original  
Questionを自分  
で設定し、聞いた  
返答を書く1学期末のパ  
フォーマンステスト  
「1分間スピーチ」  
で話した内容を  
Episode Talkと  
して記載しておく  
話す交流の感想を英  
語で書いて提出

## 効果

- ✓ ネイティブとの自発的な交流を促すことができる
- ✓ 1学期のパフォーマンステストと連動させることで、授業と実践の結びつきを実感させることができる

## タイトル

パフォーマンステスト STEP1 「レシテーションテスト」

指導場面：授業中

時期：1学期中間

## 目的

パフォーマンステストへの垣根を低くし、英語を話すことに慣れさせる

## 活動内容

教科書のレシテーションテストを教員\*と1対1で行う ▶ 優秀者はクラス発表

\*クラスを日本人教員とJETで半数に分けて実施

## 活動のポイント

①暗唱文は教科書のLesson 1 の1セクションを少し短くしたもの


②日本語訳と各文の最初のアルファベットが記載されている「お助けプリント」の使用OK（使用した場合は減点）

③教員と1対1で実施

→パフォーマンステストへのハードルを下げる

Lesson2 Section1 Recitation test お助けプリント

第2段落



1	H	7語	どうすれば、海を清掃することができるのでしょうか。
2	S	4語	専門家の中には言う人もいます。
3	t	5語	それはほぼ不可能だと。
4	T	5語	海は広すぎます。
5	a	6語	そしてお金が足りすぎます。
6	H	1語	しかし。
7	a	5語	ある若者が努力しています。
8	t	4語	この問題を解決しようと。
9	H	5語	彼の名前は、ボイアン・スラットです。

▲お助けプリント（日本語訳と各文の最初のアルファベットを記載）  
ほとんどの生徒が本番は使用せず、暗記していた。

## 効果

- ✓ 1対1なので、生徒へのプレッシャーを最小限に抑え実施ができる
- ✓ 暗記のために何度も音読をするので、年度初めに音読習慣を身につけられる

## タイトル

## パフォーマンステスト STEP 2 「1分間スピーチ」

指導場面：授業中

時期：1学期期末

## 目的

海外やネイティブスピーカーと話すときに語れる「持ちネタ」を1つ持たせる  
添削を重ねることで、パラグラフライティングの基礎を固める

## 活動内容

上限を2分とし、テーマは自由（ボランティア、環境問題、今年の目標、行事など）とし、教員と1対1で行う ▶ 優秀者はクラス発表

## 活動のポイント

## ①準備

## ■テーマ設定

自由設定としたが、自分の自己紹介につながる内容（好きなバンドや歌手、取り組んでいるスポーツなど）を設定した生徒が多かった

## ■原稿作成

生徒個人が原稿を書き、教員が2回ほど添削を行う。  
※添削する際は、細かい文法間違いをすべて修正するのではなく、意味が正確に伝わることを重視。

## ②本番

## ■教員と1対1

クラスを日本人教員とJETで半数に分けて実施し、評価項目はPreparation、Fluency、Pronunciation & Intonation、Contents 4観点で設定。

※自分の設定したテーマに対し、自由に長く深く話せることを目標としたため、文法事項については採点事項から外した

## ■優秀者はクラス全体発表

## 効果

- ✓ 自分で考え、英語で発表することでパラグラフライティングとプレゼンテーションの基礎ができる

指導場面：授業中

時期：2学期中間

## タイトル

パフォーマンステスト **STEP 3 「スキット発表」**

## 目的

TGG \*の振り返りとグアム修学旅行への事前学習として、具体的なシチュエーションでの会話力と表現力を高める

## 活動内容

TGG で学んだことを生かし、3人 1グループでスキット発表 ▶ 優秀作品を選考し、後日全クラスで上映

\*TOKYO GLOBAL GATEWAY (<https://tokyo-global-gateway.com/personal/whatistgg/>)

## 活動のポイント

## ①準備（授業3コマ）

## ■ 場面・配役設定

TGGで学んだことを生かし、ホテル・関税・ショッピング・レストランなど具体的な場所を6つ程度提示し、グループごとに選択させる。役は自由に設定可能だが、**台本には「必ず1つ問題が発生する」という条件**を課している。

## ■ 英文作成・練習（台本例を次頁に掲載）

TGGの模倣ではなく、**グアム修学旅行を想定して作成**させる。なかなか進まないグループは教員がサポートに入り、台本は教員がすべてチェックする。

## ②本番

## ■ 各クラスで発表

教員は、Preparation & Contents、Fluency、Pronunciation & Intonation、Delivery（Gesture、Voice、Eye contact）の4項目を評価。採点のための見直しと後日上映用に全グループ分、ビデオ撮影。



◀ 発表中の様子

## 効果

- ✓ TGGですでに学んだ内容が生かせるグループ活動のため、英語が苦手な生徒も取り組みやすく、積極的に英語に触れる機会となる
- ✓ 行事・指導・評価が一体となり、生徒の会話力・表現力の強化ができる

## スキット台本例

## 評価基準（教員共有用）

## スキット生徒台本

Hotel (ABはチェックインをしたい客、Cは受付のホテルマン)

AB: Can I check in? (ABが同時にフロントに来る)

A: I am faster than you.

B: No, I am faster than you!

A: No, no! (もみ合いになる)

C: Stop! Please be calm! What's up?

A: I was here first!

B: No, I was here first! (再びもみ合いになる)

C: Calm down! Just drink a cup of water. (水を置く)

AB: Thank you.

B: Sorry. It was wrong of me.

A: No, it was wrong of me. You should check in first.

B: You should check in first. (お互い何度も譲り合う)

C: Stop. You should decide which is first by rock-scissors-paper.

AB: OK, rock-scissors-paper. 123! (1度あいこの後にAが勝つ)

B: Oh, you first.

A: Thank you. Can I check in now?

C: OK. What is your name?

A: I'm 名前.

C: OK, 名前, this is your room card. Your room number is 503, OK?

A: OK, thank you. (Bもこの後無事チェックインを済ませる)

Restaurant (AとCはウェイター、Bは客)

A: May I help you?

B: I want something to drink.

A: We have apple juice, orange juice, milk tea, cola and tapioca milk tea.

必ず1つ問題が  
発生する設定

※本番発表の書き  
起こしのため表現の  
間違いなどあり

## 評価基準

## (1) Preparation &amp; Contents (話の構成と内容)

5 points : 場面設定、話の展開などの構成が十分考えられている

(Story structure is well-organized)

3 points : 場面を演じているが、話の展開が不十分である

(Story structure is not well-organized)

1 point : 準備不足でスキットが十分に演じられていない

(Preparation is not enough)

※The points of "Preparation & Contents" are same for every member of a group.

## (2) Fluency (流暢さ)

5 points : 流暢に話している (Fluent enough)

4 points : ほぼ流暢に話している (Almost fluent)

3 points : 多少つかえる箇所がある (Get stuck sometimes)

2 points : つかえる箇所があるが続けて話そうとしている

(Get stuck but try to speak)

1 point : 無言の時間が長く、流暢に話していない (Long silence continues)

## (3) Pronunciation (発音) &amp; Intonation (抑揚)

5 points : ネイティブのように英語らしい発音で話している (Like a native speaker)

4 points : ほぼ英語らしい発音で話している (almost like a native speaker)

3 points : 日本語交じりの発音があるが、英語らしい発音で話そうとしている

(a little bit like Japanese but students still try to speak like a native speaker)

2 points : 日本語交じりの発音が多い (a little bit like Japanese)

1 point : 日本語のような発音で話している (Japanese like)

## (4) Delivery (Gesture, Voice, Eye contact)

5 points : ジェスチャーを使うなど分かりやすく、大きな声で堂々と発表している (speak very clearly in a loud voice and easy to understand)

3 points : ところどころ聞き取りにくい (分かりにくい) 部分がある

(sometimes difficult to catch what he/she speaks accurately)

1 point : 声がいささい、はっきりしないなどの理由で発言の大部分が聞き取りにくい (can't listen to what he/she speaks)



## タイトル

## パフォーマンステスト STEP4 「Show&amp;Tell」

指導場面：授業中

時期：2学期末

## 目的

グアム修学旅行の振り返り、プレゼンテーション力を高める

## 活動内容

グアム修学旅行で撮影した写真を用いてポスターを作成し、1対クラスでプレゼンテーションを実施 ▶ 優秀作品のポスターを学年廊下に展示

## 活動のポイント

## ①準備

- ①自分で撮影した写真をあらかじめ印刷し持参
- ②授業内でポスターと発表原稿の作成
- ③原稿は事前に教員が添削

→自分が撮影した写真をもとに発表準備をするので、何をすればよいか分からない生徒はほぼいない状態で準備を進められる。

## ②本番

## ■各クラスで1人1分半で発表

&lt;発表例&gt;

- ・グアムで訪れた場所や食べ物について
- ・戦争やグアムと日本の関係性について

## ■優秀作品を学年廊下にポスター展示



生徒からの人気投票を行うことで、次回パフォーマンステストへのモチベーションにもなった。

## 効果

- ✓ 「相手に伝わる」表現力・プレゼンテーション力を高められる
- ✓ 行事で学んだことを自分の力で英語で表現し、人前で英語で発表することにより自分の英語に自信が持てるようになる

## タイトル

パフォーマンステスト STEP 5 「レシテーションコンテスト」

指導場面：授業中

時期：3学期末

## 目的

歴史に残る素晴らしいスピーチに触れながら、発音・プレゼンテーション力を高める

## 活動内容

歴史に残る名スピーチ3題から生徒自身が感銘を受けた1題を選択し、各クラスで予選 ▶各クラス2名を目安に選抜し、学年全体の本選 (2020年度は新型コロナの影響で実施なし)

## 活動のポイント

## ■ 題材（選定のポイント：歴史に残る素晴らしいスピーチを生徒が学べるように）

- ① Martin Luther King Jr. "I have a dream" (長さ：短、難易度：高)
- ② Steve Jobs "Stay Hungry, stay foolish" (長さ：長、難易度：中)
- ③ Malala Yousafzai "Let's begin this ending." (長さ：中、難易度：易)

## ■ 練習

50分授業のうち、題材で3グループに分割し、10～15分交代で発音、内容を指導

グループ1：日本人教師

グループ2：JET

グループ3：個人練習

①発音指導をしながら、ペアでサイトトランスレーションを行い、意味を1文ずつ確認させる→内容を理解した上で発音すると次のフレーズがスムーズに出てくる

②個人練習の際はYouTubeなどで本人の動画を見て練習させる→本人のイントネーションや間の空け方を真似て聞きやすい発表になる

## 効果

- ✓ ある程度の長さのオーセンティックな英語を聞くことに慣れる
- ✓ 人の心を動かすような素晴らしいスピーチの内容を学ぶことで、より英語への関心が増す

## 生徒配布プリント～レシテーションコンテスト 実施意義と練習の仕方について～

令和2年1月21日  
都立青梅総合高校 英語科

## Aoso English Letter Vol.23

## ～第5回パフォーマンステスト～

グアムプレゼンテーションの振り返りを通して、次回レシテーションテストに向けて自分の目標ははっきりしているでしょうか。英語通信23号ではレシテーションテストについてお知らせします。

## 題材

レシテーションの題材は以下の3つです。以下の説明文や実際の動画を見て、自分自身が感銘を受けたもの、カッコいいと思った題材に挑戦してみましょう。言い回しや単語の難易度の若干の差はありますが、採点は題材による有利不利が出ないようにしますので、安心して、取り組みたい題材を自分で選ぶようにしてください。

## 1 Martin Luther King Jr. "I have a dream"

1863年にリンカーン大統領によって奴隷解放宣言がなされた後もなお、厳しい黒人差別は続いていた。モンゴメリーバスボイコット事件を始め、公民権運動が高まりを見せる中、首都ワシントンにおいて奴隷解放宣言100周年を記念して1963年8月28日にワシントン大行進が行われ、20万人以上が参加した。この集会の中で、リンカーン記念堂の前で行われた伝説的な演説がキング牧師による“I have a dream”の演説である。黒人差別の根強く残るこの時代に、キング牧師が伝えたかったメッセージ、彼の夢とはどんなものだったのか。20世紀最高の演説とも言われる演説を、キング牧師になりきってやってみよう。

## 2 Steve Jobs "Stay Hungry, stay foolish"

「アップル」を創業しMacintoshを開発したスティーブ・ジョブズ。2005年に世界でも屈指の名門スタンフォード大学で行われたスピーチが題材である。このスピーチの中でジョブズは、①点と点をつなげる②愛と喪失③死という3つのテーマで話している。今回の題材は③死である。自らもガンに侵されながら奇跡的に一命を取り留めた経験に言及しつつ、未来ある若者に対して独自の視点から素直な人生のアドバイスを送っている。様々な名言の散りばめられたスピーチの中で、彼らに送った最後のメッセージは“Stay Hungry, stay foolish”である。

## 3 Malala Yousafzai "Let's begin this ending."

パキスタンの恐怖政治が行われ、女性の権利が保障されていない地域で生まれ育ったマララは、女性への教育の必要性や平和を訴える活動を続け注目を浴びようになる。しかしこれに腹を立てたテロリストによりスクールバスを襲撃され、頭と首に銃弾を受けることになってしまう。それでも一命を取り留めたマララは2013年7月12日(マララの16歳の誕生日)に国連本部で演説をし、「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。」と訴えた。題材は、2014年史上最年少でノーベル平和賞を受賞したマララが、受賞時に行ったスピーチである。簡潔で分かりやすく、突き刺さるようなメッセージが込められた演説に挑戦してみよう。

※どの演説も世界の歴史に残る名演説です。必ず1度は通して見てみるようにして下さい。

## 〈レシテーションの練習の仕方〉

(1) オリジナルの動画を見る又は音声を聴く  
スクリプトを見ながらでも、見ずにでも構わないので、まずはどんな流れでこのスピーチが行われているかを何度も聞きましょう。この際、発音のわからない単語の発音を覚えるようにして下さい。発音に関しては授業時間内で扱う予定ですが、すべての単語の発音を十分に練習する時間はありませんので、各自でどんどん練習して下さい。

(2) 本文をいくつかのパートに分ける  
大まかに構わないので、本文を覚えやすい分量に各自で分割しましょう。一気に全てを覚えようとすると、覚えるのに時間がかかってしまいます。

(3) 意味を確認する  
訳のプリントと照らし合わせて英文全体の意味を確認します。わからない単語は辞書で調べましょう。

(4) 分けたパートごとに英語を読んで覚える

## ①リピートする

音声を聞いたら1文ずつ区切ってリピートしていきます。発音と読み方を真似すること。

## ②リード&amp;ルックアップ

1文ずつ覚え、顔を上げて発音していきます。

## ③オーバーラッピング

スクリプトを見ながら音声と同時に発音します。個々の単語の発音だけでなく、1文ずつの読み方を真似して覚えて下さい。

## ④シャドーイング

スクリプトを見ずに音声を聞きながら、5秒遅れで発音していきます。

## (4) 暗唱をする

ここまで練習をしたら、何度も暗唱練習をしましょう。多少のミスがあっても、気にせずに最後まで言い切るように意識しましょう。自分自身の動画を撮って練習をし、見返していくのが効果的です。友達と練習しても良いでしょう。

## (5) 自分なりのスピーチを!

暗唱ができるようになったら、ジェスチャーや表情や声色などを考えて、自分なりのスピーチに変えていきましょう。本人の真似をする必要はありません。まるでオリジナルのスピーチであるかのように発表できたら大成功です!!楽しんで取り組んでください!

Vol.23は以上です。毎日練習しよう!